



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月28日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社神戸製鋼所
コード番号 5406 URL <http://www.kobelco.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川崎 博也
問合せ先責任者 (役職名) 秘書広報部長 (氏名) 安田 幸展

TEL 03-5739-6010

四半期報告書提出予定日 平成27年7月31日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	460,086	3.4	25,268	△9.7	21,807	1.0	11,881	△48.2
27年3月期第1四半期	444,790	6.3	27,987	44.6	21,583	26.0	22,943	22.6

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 12,546百万円 (△57.6%) 27年3月期第1四半期 29,574百万円 (31.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	3.26	—
27年3月期第1四半期	6.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	2,302,821	856,123	34.0
27年3月期	2,300,241	851,785	33.8

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 783,539百万円 27年3月期 776,491百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	2.00	—	2.00	4.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	2.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

期末配当予想額については未定であります。
配当予想の修正については、本日公表の「配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	950,000	3.7	50,000	△12.6	40,000	△13.3	20,000	△52.5	5.50
通期	1,950,000	3.3	125,000	4.6	95,000	△6.6	60,000	△30.7	16.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期1Q	3,643,642,100 株	27年3月期	3,643,642,100 株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	10,115,571 株	27年3月期	10,082,049 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期1Q	3,633,538,523 株	27年3月期1Q	3,633,686,356 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(2)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の我が国経済は、消費増税に伴う駆け込み需要の反動減があった前年同期から回復し、個人消費や企業の設備投資などは緩やかな増加が継続しました。また、海外では、米国や欧州において、緩やかながら景気回復基調が継続しました。一方、中国や東南アジアにおいては、景気の減速基調が継続しました。

このような経済環境のもと、当社グループにおいて、鋼材の販売数量は、需要家の在庫調整などにより自動車向けの需要が減少したものの、造船向けの需要が堅調に推移したことなどから、生産トラブル等があった前年同期を上回りました。アルミ圧延品の販売数量は、飲料用缶材の需要が堅調に推移したことや、輸出を中心に自動車向けの拡販に取り組んだことなどから、前年同期を上回りました。銅圧延品の販売数量は、銅板条においては自動車用端子や半導体、銅管においてはエアコン向けの需要が減少したことなどから、前年同期を下回りました。油圧シヨベルの販売台数は、海外において中国を中心に減少したことなどから、前年同期を下回りました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に比べ152億円増収の4,600億円となり、営業利益は、前年同期に比べ27億円減益の252億円となりましたが、経常利益は、営業外収益が増加したことから、前年同期並の218億円となりました。

一方、中国における建設機械事業の関連会社について投資有価証券評価損を特別損失として計上しました。その結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、繰延税金資産を積み増した前年同期に比べ、110億円減益の118億円となりました。

当第1四半期連結累計期間のセグメント毎の状況は以下のとおりであります。

鉄鋼事業部門

鋼材については、需要家の在庫調整などにより自動車向けの需要が減少したものの、造船向けの需要が堅調に推移したことなどから、販売数量は、生産トラブル等があった前年同期を上回りました。また、販売価格は、主原料価格が値下がりした影響などから、前年同期を下回りました。

鑄鍛鋼品の売上高は、国内造船向けの需要が堅調に推移したことから、前年同期を上回りました。また、チタン製品の売上高は、製品の構成変化により、前年同期を下回りました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同期並の1,891億円となり、経常利益は、販売数量が増加したことや主原料価格が値下がりしたことなどから、前年同期に比べ28億円増益の60億円となりました。

溶接事業部門

溶接材料の販売数量は、国内では、造船向けの需要が堅調に推移しましたが、海外では、東南アジアや中国、米国において減少したことなどから、前年同期を下回りました。一方、溶接システムの売上高については、国内建築向けの需要が好調に推移したことから、前年同期を上回りました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同期比2.3%増の232億円となり、経常利益は、前年同期に比べ0億円（54百万円）減益の20億円となりました。

アルミ・銅事業部門

アルミ圧延品の販売数量は、飲料用缶材の需要が堅調に推移したことや、輸出を中心に自動車向けの拡販に取り組んだことなどから、前年同期を上回りました。アルミ鑄鍛造品の売上高は、海外における自動車向けの需要が堅調に推移したことから、前年同期を上回りました。

銅圧延品の販売数量は、銅板条においては自動車用端子や半導体、銅管においてはエアコン向けの需要が減少したことなどから、前年同期を下回りました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同期比13.4%増の928億円となり、経常利益は、前年同期に比べ26億円増益の62億円となりました。

機械事業部門

海外を中心に石油精製・石油化学業界向け圧縮機の競合環境が激化していることから、当第1四半期連結累計期間の受注高は、大型案件の受注があった前年同期と比べると20.8%減の285億円となり、当第1四半期連結累計期間末の受注残高は、1,318億円となりました。

また、当第1四半期連結累計期間の売上高は、石油化学業界向け圧縮機の案件を計上したことなどから、前年同期比9.7%増の405億円となりましたが、経常利益は、圧縮機や樹脂機械を中心とした競合環境の激化による採算低下などから、前年同期に比べ3億円減益の16億円となりました。

エンジニアリング事業部門

当第1四半期連結累計期間の受注高は、海外における大型還元鉄プラント案件を受注したことなどから、前年同期比124.0%増の109億円となり、当第1四半期連結累計期間末の受注残高は、690億円となりました。

また、当第1四半期連結累計期間の売上高は、大型還元鉄プラント案件の建設工事が順調に進捗したことなどから、前年同期比20.0%増の103億円となり、経常損失は、前年同期に比べ0億円(18百万円)改善し、3億円となりました。

神鋼環境ソリューション

当第1四半期連結累計期間の受注高は、廃棄物処理関連事業での受注増加などにより、前年同期比6.9%増の312億円となり、当第1四半期連結累計期間末の受注残高は、657億円となりました。

また、当第1四半期連結累計期間の売上高は、廃棄物処理関連事業での既受注大型案件の工事進捗などにより、前年同期比20.8%増の145億円となり、経常利益は、前年同期に比べ3億円増益の3億円となりました。

コベルコ建機

油圧ショベルの販売台数は、国内においては更新需要が一巡していることに加え、海外においても、インフラ投資が停滞している中国などで需要が減少したことから、前年同期を下回りました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比13.4%減の703億円となり、経常利益は、前年同期に比べ62億円減益の12億円となりました。

コベルコクレーン

クローラクレーンの販売台数は、国内及び北米やアジアなどで需要が堅調に推移したことから、前年同期並となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比6.7%増の181億円となりましたが、経常利益は、拡販活動に必要な費用を積み増したことから、前年同期に比べ7億円減益の10億円となりました。

その他

神鋼不動産(株)においては、分譲事業において引渡戸数が増加するとともに、賃貸事業も堅調に推移しました。(株)コベルコ科研においては、試験研究事業において自動車関連の需要が堅調に推移しました。

以上の状況から、その他の事業全体の当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比26.0%増の181億円となり、経常利益は、前年同期に比べ10億円増益の19億円となりました。

(2) 連結業績予想に関する定性的情報

前回(平成27年4月28日)業績予想時と比較すると、足元の我が国経済においては緩やかな回復基調が継続するものの、世界経済は、中国をはじめとした新興国経済の減速傾向の長期化など不透明感が強い状況であり、先行き不安が懸念されます。

このような中、足元では、コベルコ建機の業績が当初見通しに比べ悪化しているものの、その他セグメントの業績が概ね堅調に推移してきていることを勘案しつつ、鉄鋼主原料価格、鋼材販売価格・数量など不確定な要素について一定の想定をした結果、通期の営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は、前回公表した予想を据え置いております。

(当期の配当について)

当社は、配当につきましては、継続的かつ安定的に実施していくことを基本としつつ、財政状態、業績の動向、先行きの資金需要等を総合的に考慮して決定することとしております。これに基づき、当期の中間配当につきましては、1株につき2円とする方針を決議いたしました。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	103,181	118,246
受取手形及び売掛金	355,579	326,698
商品及び製品	185,077	193,862
仕掛品	119,436	120,293
原材料及び貯蔵品	138,161	139,070
その他	160,218	173,764
貸倒引当金	△8,648	△8,673
流動資産合計	1,053,006	1,063,262
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	288,175	284,571
機械装置及び運搬具(純額)	401,505	393,557
土地	195,837	196,105
その他(純額)	41,475	44,501
有形固定資産合計	926,994	918,734
無形固定資産	20,038	20,283
投資その他の資産		
投資有価証券	207,931	207,472
その他	94,501	95,337
貸倒引当金	△2,230	△2,268
投資その他の資産合計	300,201	300,541
固定資産合計	1,247,234	1,239,559
資産合計	2,300,241	2,302,821
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	424,269	401,446
短期借入金	221,371	234,244
1年内償還予定の社債	20,000	10,000
未払法人税等	14,010	3,630
引当金	38,565	27,714
その他	145,238	153,191
流動負債合計	863,455	830,228
固定負債		
社債	131,000	181,000
長期借入金	304,974	284,346
退職給付に係る負債	59,573	60,932
引当金	15,697	15,844
その他	73,756	74,346
固定負債合計	585,001	616,469
負債合計	1,448,456	1,446,698

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	250,930	250,930
資本剰余金	100,782	100,782
利益剰余金	392,652	397,254
自己株式	△2,996	△3,003
株主資本合計	741,368	745,963
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,097	31,415
繰延ヘッジ損益	△2,415	△2,141
土地再評価差額金	△3,560	△3,560
為替換算調整勘定	22,892	20,843
退職給付に係る調整累計額	△8,891	△8,981
その他の包括利益累計額合計	35,122	37,575
非支配株主持分	75,293	72,584
純資産合計	851,785	856,123
負債純資産合計	2,300,241	2,302,821

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	444,790	460,086
売上原価	371,963	388,277
売上総利益	72,826	71,808
販売費及び一般管理費	44,838	46,540
営業利益	27,987	25,268
営業外収益		
受取利息	929	988
受取配当金	1,510	1,820
業務分担金	1,358	1,353
持分法による投資利益	1,163	150
その他	2,042	4,650
営業外収益合計	7,004	8,963
営業外費用		
支払利息	3,963	3,665
出向者等労務費	3,243	2,986
その他	6,202	5,771
営業外費用合計	13,409	12,424
経常利益	21,583	21,807
特別損失		
投資有価証券評価損	—	3,946
特別損失合計	—	3,946
税金等調整前四半期純利益	21,583	17,860
法人税、住民税及び事業税	3,727	3,862
法人税等調整額	△7,191	3,652
法人税等合計	△3,463	7,515
四半期純利益	25,047	10,345
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	2,103	△1,535
親会社株主に帰属する四半期純利益	22,943	11,881

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
四半期純利益	25,047	10,345
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,745	4,144
繰延ヘッジ損益	1,247	90
為替換算調整勘定	△5,808	△1,920
退職給付に係る調整額	2,408	△75
持分法適用会社に対する持分相当額	△65	△37
その他の包括利益合計	4,527	2,200
四半期包括利益	29,574	12,546
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	29,288	14,333
非支配株主に係る四半期包括利益	286	△1,787

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。